

へ現代語訳〈

その夜は大田原（栃木県）の宿にとまりましたが、たいへんつかれてしま  
い、俳句はできませんでした。次の日は、那須野が原にむかい歩いていきま  
した。やがて二荒高原などとよばれている山が、西の方に高くそびえたつて  
いました。あたり一面によもぎやすすきがかれ果てているようすは、それは  
それはものすごくあれ果てた風景でした。

（俳句）早春の野の一面に西風がふきわたり、四、五十里の遠くまでゆきわ  
たっているようすです。

いまでこそ、東京へ行くのはかんたんですが、たよ女のころは、たいへんな旅  
行でした。四十八才になった女性のひとり旅は、現代の人が外国へ旅するより、  
もつともつとたいへんなことでした。たよ女の向学心の強さが、そのことからも  
わかります。

たよ女の旅は、順調にいきました。一月二十五日に須賀川をたつて、九日めの